

# 陸上競技のアナウンサー

～初めてマイクにおかう人へ～

2018年5月

**(公財) 日本陸上競技連盟  
競技運営委員会**

## 1 アナウンス上の心得

- ① 落ち着いて、あわてず、あせらずに。口に物を入れず・含まずに。  
マイクの感度を十分考えて、口元とマイクを正対させる。
- ② 生き生きとした、張りのある声で（発奮させる）。しかし、テレビやラジオの実況放送でのアナウンサーのような絶叫調にならないように。
- ③ 普通の声量で。音量はマイクで調整する。
- ④ 話すスピード・間のとりに方に留意。
- ⑤ 数字の語尾は若干あげて明瞭に。
- ⑥ 暗いイメージ、雰囲気をおそろしようなイメージの言葉は避ける。  
（不快なイメージのない言葉の選択）。
- ⑦ 話す前に、トラック競技（特にスタート時）やフィールド競技の試技に支障がないかを必ず確認する。
- ⑧ 結果（リザルト）の内容（ページ、順位、風速等）をよく確かめて。
- ⑨ アナウンス済みの原稿には、抗議があった場合に備えて、発表時刻と担当者を記入しておく。PC等を使用する場合は、手元のプログラムや進行管理表に記入しておく。
- ⑩ 読みにくい字、判読しにくい人名、地名、所属名等は事前に確認。（総務にあるエントリー原本で確認する。出発係との無線で、本人に確認してもらうことも）
- ⑪ 紹介時にスタートリストが届いていない場合の対応方法を考えておく。  
（双眼鏡で出場者のナンバー確認、無線で出発係に問い合わせる等）
- ⑫ 雨天、荒天、炎天時には、アナウンスのために競技者を待たせない。
- ⑬ 本来の任務（紹介、描写、結果発表、式典、表彰等）以外の内容をコメントする時は、主任に確認してから。
- ⑭ 起語と結語をはっきりさせる。

## 2 初心者が特に注意すべきこと

### (1) 全般

- ① カみすぎ、あるいは声にハリがない
- ② 種目名の言い誤り（例：3000m障害物競走）
- ③ マイクに正対しない
- ④ マイクに近づきすぎる
- ⑤ 話し方が速い
- ⑥ 語尾が不鮮明

### (2) 紹介

- ① 「～m競走予選」の言い方で、「競走」と「予選」をつなげてしまう。
- ② 選手がすでにスタートラインの後方に並んでいるのに、待たせてしまう。

### (3) 途中計時

- ① 途中計時地点を通過しても、なかなかラップタイムをアナウンスできない。
- ② 1周目 400mの途中計時の言い方（例：「1分06秒」ではなく「66秒」が選手にとって慣れ親しんだ言い方）。

### (4) 成績発表

- ① スクリーンを使用しない競技会で、プログラムページを言わないで結果を発表する（プログラムに記入できない）。あるいはプログラムページを言ったあと、すぐに結果の発表を始める（プログラムを開く余裕がない）。
- ② 話し方が速すぎる。速さにムラがある（聞き取れない・書き取れない）。
- ③ 数字の語尾が下がる。特に1/100秒の位（聞き取りにくい）。
- ④ 風向風速を言い落とす。
- ⑤ 周囲の状況を見ないで発表してしまう（「On Your Marks」の声がかかっているのに話し始める／フィールド競技で新記録に挑戦しようと助走の態勢に入っているのに話し始める 等）。

## 3 アナウンスの用語

### (1) 紹介

- ① 男子は「くん」、女子は「さん」が原則。
- ② カテゴリー ⇨ 性別 ⇨ 種目  
例) 高校男子走幅跳、中1男子100m競走、一般・高校女子砲丸投
- ③ 「10時から競技が開始されます」  
時間に関して「より」は使わない。「より」は比較等の意味で使う。
- ④ スタートリストがスクリーンや携帯サイト、Webサイト等に掲載されることや時間短縮の観点から、「ナンバー（番号）」を省略するケースが増えている。
- ⑤ 短距離走の場合、紹介時には「第1レーン～」（「第」を冠した方が響きが良い）
- ⑥ オープンレーンで行われる中長距離走の場合、「レーン」「オーダー」とは言わない。
- ⑦ フィールド競技の場合、「第1跳躍者」「第1投てき者」「オーダー」とは言わない。

### (2) 項目名・順位

- ① トラック競技は「着」「時間」。フィールド競技は「等」「記録」。
- ② 複数組で行われた場合の総合順位や表彰では「第〇位」

### (3) 途中経過・描写

- ① 「圧倒的な強さ」「負けている」等の形容は避け、「先頭（トップ）」「続いて」「2番目・3番目」といった言い回しを心がける。「2番手」「3番手」の形容は避ける。「番手」は登場する順番を表す語であり、競馬・競輪の中継では聞くが、陸上競技のアナウンスでは使わないようにしている。

- ② 「失敗した」「諦めた」等の否定的な意味の強い形容も控える。  
「クリアできなかった」「赤い旗が上がって」「出場していない」「途中で競技をやめている」のような言い回しを工夫する。

#### (4) 結果

- ① 「時間」「記録」「得点」などの項目名は最初の一人だけにつければよい。  
② スクリーン（電光掲示板）を利用する場合は「ページ番号」を省略してもよいが、使用しない競技会では「ページ番号」もアナウンスする方が親切。

#### (5) 重複言葉を避ける

- ① この時の風は追い風1.1mでした → 追い風1.1mでした  
② 先頭は〇〇君、続いて△△君、□□君と続きます  
→ 先頭は〇〇君、続いて△△君、□□君です

#### (6) 時を示す用語の使い分け

「先ほど終了した」「ただいま終了した」「ただいま行われている」  
「このあと行われる」「間もなく行われる」



以下、標準的なコメント例を挙げますが、例文の通りでなくてはいけないということではありません。まずは例にならって喋ってみて、慣れてきたら他の言い回しを工夫して構いません。

肝心なのは競技者にも観客にも、そして審判員にも親切で聞き取りやすく、競技会が盛り上がるアナウンスを心掛けることです。それは、テレビのスポーツ中継などでよく耳にする、感情的になりすぎた絶叫型のアナウンスではありません。

その競技会にたどり着くまでに、競技者がどれほどの努力を積み上げてきたかということに敬意をもち、彼らの渾身のパフォーマンスについて、必要な情報を的確に迅速に提供することが第一の任務です。

全てにおいてコメントをつける必要はなく、競技者の素晴らしいパフォーマンスを「魅せる」ために、あえて無言でいてもよいのです。

競技会のレベルや性質、そこで見ている観客が求めていることは何かをよく考え、アナウンスチーム全体で統一した認識を持ち、場面に応じてコメントすることが重要です。



## アナウンス用語

	誤	正
<b>種目の読み方</b>		
m	メーター	メートル
100m	100メートル	100メートル競走
110mH	110メートルハードル競走	110メートルハードル
3000SC	3000m障害物競走または 3000障害(mがぬけている)	3000m障害
10000mW	10000mウォーク	10000m競歩
4 × 100mR	4かける100mリレー	400mリレー
4 × 400mR	4かける400mリレー	1600mリレー
<b>数字の読み方</b>		
0	ゼロ (英語読み)	れい
4	し (聞き取りにくい)	よん
7	しち (1や8と区別しにくい)	なな
<b>時間の読み方</b>		
3分、4分	さんぶん、よんぶん	さんぷん、よんぷん
8分	はっぶん (1分や8分と区別しにくい)	はちぶん
10.05	10てんれいご(う)	10秒れいご(う)
1'11"93	1ぶん11秒93	71秒93 ※1
2'03"05	2分れいさん秒れいご(う)	2分さん秒れいご(う) ※2
9'00"70	9分れいれい秒ななれい	9分れい秒ななれい ※2
<b>距離・高さの読み方</b>		
7m68	ななメートル68センチ	ななメートル68
2m03	2mれいさん	2mさん
35m00	35mれいれい または 35mちょうど	35mれい
<b>風の読み方</b>		
+1.5	プラスってんご	追い風いちてんごメートル※3
-2.0	マイナスにいてんれい	向い風 にメートル
±0.0	プラスマイナスれいてんれい	風はありませんでした
※1 400mのラップタイムは競技者が普段慣れている「秒読み」とし、 結果発表は「分読み」か「秒読み」かを主任が決め、全員で統一する。		
※2 分・秒がひと桁の場合の十の位の0は読まない。秒未満の0はそのまま読む。		
※3 「ってんご」でも誤りではないが「いちてんご」の方が聞き取りやすい。		
※4 風で小数一位が0の場合は読まない。「2mちょうど」も誤り。		

## トラック競技の実践例

### I. 種目・選手紹介

#### 【例1 予選で選手紹介を省略した例】

- ① このあとトラックでは、〔種目〕予選が行われます。
- ② この種目の大会記録は、〇秒〇〇です。（必要に応じて記録保持者の名前も紹介）
- ③ （次ラウンドへの進出条件）  
〔種目〕予選は全部で〇組あり、各組〇着までと、  
〇着以下から上位記録の〇名が（タイムの良い〇名が）決勝へ進みます。
- ④ 予選第1組は、8名全員の出場です。  
（予選第1組、〇レーンを空けて7名の出場です。）

- (1) スターターはアナウンス終了と同時に、「On Your Marks」を言うよう心がけているので紹介の終わりには、「～の出場です」などの結語を必ずつけること。
- (2) スクリーンを使用しない競技会の場合は、①の後に「プログラムは〇ページです」。  
また、スクリーン使用の場合は「出場者はスクリーンに表示されています」などのコメントを入れる。
- (3) 次ラウンドの進出条件に関しては「決勝進出です」「進出します」等の言い方がある
- (4) 結語として「出場します」「出場です」「行われます」「スタートします」等の言い方がある。
- (5) 欠場者がいる場合は「第6レーンは棄権です」ではなく、④で「予選1組は、6レーンを空けて、〇名の出場です」と言う。時間短縮やメリハリをつける観点から欠場者のレーンには「第」はつけない。番組編成で最初から空いているレーンについては、コメントしない。

#### 【例2 準決勝・決勝で選手紹介する例】

- ① このあとトラックでは、〔種目〕準決勝/決勝が行われます。
- ② この種目の大会記録は、〇秒〇〇です。（準決勝なら決勝進出条件を入れる）
- ③ 出場者をご紹介します。（「選手の紹介です」「出場者は…」など）
- ④ 第1レーン 〇〇〇〇君 〇〇陸協  
第2レーン □□□□君 □□大学  
……  
以上8名の出場です。

【例3 周回レースでスタート後に選手紹介する例】

- ① トラックでは間もなく、男子1500m競走、準決勝が行われます。
- ② 準決勝は2組行われ、各組5着までと6着以下の中で、記録の良い2名が決勝に進みます。
- ③ 準決勝第1組の出場者は12名。 スタートしてから紹介します。  
どうぞスタートにご注目ください。
- ④ (スタートした直後に) 男子1500m競走 準決勝がスタートしました。  
出場者は、〇〇君、〔所属〕。 □□君、〔所属〕 … (以下全員)
- ⑤ 以上12名です。

※紹介が終わる前後のタイミングで、先頭が最初の400mを通過する場合があるが、  
紹介の途中にラップタイムを挟んでから、紹介を続けてもよい。

【例4 リレーの紹介】

- ① 間もなく、トラックでは男子400mリレー決勝が行われます。
- ② 日本高校記録は2012年に京都・洛南高校がマークした39秒64、  
大会記録は2013年に神奈川・相洋高校がマークした39秒97です。
- ③ それでは決勝に出場するチームとそのオーダーを紹介します。  
第1レーン、〇〇高校、〔一走の名前〕、〔二走の名前〕、〔三走の名前〕 …  
第2レーン、△△高校、〔一走の名前〕 …  
第3レーン、…  
(以下最終レーンまで同じ)
- ④ 以上、8チームの出場です。

※紹介は、チーム名だけで、オーダーは省略することもある。

### 【例5 不正スタート・スタートのやり直しの例】

- ただいまのは不正スタートではありません。体が動いたのでスタートをやり直します。
- スタンドの皆様をお願いいたします。スターターが台に上がったら、お静かに願います。
- 機械の不具合がおきたため、スタートのやり直しです。
- ○レーンが不正スタートと判定され失格となります。
- ○レーンに警告が与えられ、スタートがやり直しです。
- (混成競技) ○レーンが不正スタートと判定されました。この後の不正スタートはすべて失格となります。

※ 同じコメントはせいぜい初めの2回ほどにとどめ、同じレースで同じ状況が度重なるときは、言葉を省いたり、コメントを控える。

ex : 簡単に「スタートのやり直しです」など

## II. レースの描写・途中時間

### (1) 計時方法

- ① 800・1500m …………… 周回ごと
- ② 3000mSC …………… 1000mごと (周回ごとを入れてもよい)
- ③ 3000・5000・10000m(W) …………… 1000mごと (余裕があれば周回ごと)

(2) 途中時間はあくまで参考なので、秒未満は発表しない。また、秒単位へ繰り上げて発表する。

例) 「5分23秒14」→「5分24秒」

(3) フィニッシュタイマーやスクリーンなど場内の時計が使用される場合は、そちらを優先する。(場内の時計が作動しないこともあるので、必ず手許の時計でも計測する)。

(4) 誤読や周回の誤りを防止するため、必ずプログラムやラップタイム用紙に計時距離、周回数、時間等を逐次記入する。

(5) 選手、観衆とも途中時間のアナウンスを参考にしているので、計時地点通過直後に迅速かつ簡潔明瞭にアナウンスすることが最大のポイント。そのため、計時地点を通過する前に先頭走者のナンバーや氏名をアナウンスしておき、通過後は時間のみを簡潔にアナウンスする(通過後10m以内を目途に途中時間のアナウンスを完了する)。

(6) 「先頭は○○君、続いて△△君、□□君と続きます」と言ってしまうがちだが(重複表現)、「続いて△△君、□□君」や「先頭は○○君、その後ろに△△君、□□君と続きます」のように表現を工夫する。



#### 【例6 タイミングを意識した途中時間】

- ①（目安としてラップタイムの計測ポイントの約80m手前を過ぎたら）  
5000m競走決勝は、先頭が間もなく2000mの通過です。
- ②（ポイント10m程度手前で）2000mは 5分、
- ③（先頭の通過直後、間髪入れずに） 26秒、5分26秒。この1000mは2分47秒。

※ ③では、②で「5分」まで言っているため、その続きから言うこと。

※ ラップタイムを言った後で先頭の名前をコメントしてもよい。

「先頭は [所属] の〇〇君、続いて [所属] の△△君です」

#### 【例7 途中時間】

- ①（通過前）5000m競走決勝は、[所属] の〇〇くんを先頭に、間もなく2000mを通過します。
- ②（ポイント10m程度手前で）2000mは 5分、
- ③（先頭の通過直後、間髪入れずに） 26秒、 5分26秒。この1000mは2分47秒。

※先頭の名前を入れるときは、ポイント80m程度手前からコメントを始める。  
余裕があれば先頭の2~3人を紹介する。

### III. 結果の発表

- (1) 他の競技の進行状況をよく確かめ、結果発表を行うタイミングを判断する。
- (2) 結果（リザルト）はためないで、できるだけ早く発表する。結果は必ずしも競技の実施順に決まるとは限らない。（紙）手もとに来たもの、（PC）入力されたものからできるだけ早く発表する。順序が前後する場合はその旨を断ってから発表する。
- (3) 結果の記載（表示）様式は、1行目が必ずしも1着ではないので注意する。
- (4) スクリーンがない場合は、①で「プログラムは〇ページです」を加える。その場合は聞き手の立場に立って、プログラムの様式に合わせるよう留意する。
- (5) スクリーンを使用する時は、タイミングを合わせてアナウンスする。
- (6) 抗議に備え、PC等を使用する場合でも発表時刻をプログラム等に記入する。
- (7) 時間短縮やメリハリをつける観点から、結果発表時には「第」をつけなくてよい。
- (8) 順位の言い方は通常「着」だが、タイムレースが複数組あり、その総合順位の場合は「位」。

【例8 フィニッシュ時の基本】

- ① フィニッシュタイマーは10秒21で止まっています。(注目をフィニッシュタイマーに促す)
- ② 予選2組は、向い風0.9mでのレースでした。(風力速報表示器に注目を促す)
- ③ スクリーンにはリプレイが出ています。(スクリーンに注目を促す)  
3レーンは〇〇さん。7レーンは△△さん。4レーンは□□さん。  
(名前の前後に所属を入れてもよい)
- ④ 画面は変わって、写真判定中の速報です。  
1着は〇〇さん、〔所属〕12秒21、2着は△△さん、〔所属〕12秒37  
3着は□□さん、〔所属〕12秒43 (何着まで読むか状況に応じて決めておく)  
4着以下はご覧の通りです。 追い風1.2mでした。
- ⑤ (表示が「Official」または「確定」に変わったら)  
予選2組の結果が確定しました。 (スクリーンは予選2組の結果です)

※③と④は逆になることもある。

※100・200mは、アナウンサー自身が風向風速を確認する。

※スクリーンがない場合、フィニッシュタイマーが一度消えて、レーンNo.と1着の確定記録が表示されたら「ただ今のレース、1着は〇レーン、〔所属〕の〇〇さん、12秒21でした」

※黄旗があがっていてもフィニッシュタイマーに速報が表示されるが、1着とは関係ないところで黄旗があげられることも多いので、記録の速報性を重視し、黄旗があがっていることを断った上で1着のみアナウンスする。「黄旗があがっていますが、1着は…」

【例9 成績発表の基本】

- ① 先ほど行われました(ただいま行われている/終了いたしました)  
〔種目〕、予選第1組の結果を発表します。  
(プログラムを開く観衆もいるので、少し間を置いて)
- ② 1着、〇レーン(または〇番)、〇〇君、〔所属〕。〇秒〇〇。(以下順に出場者全員発表)
- ③ (200m以下の種目では)〔追い風/向い風〕、〇.〇mでした。

【例10 上位ラウンドにタイムで進出する選手の発表例】

- ① 先ほど行われました、女子200m競走、予選の結果、決勝進出プラス2の選手をお知らせします。  
(または「…予選の結果、タイムで決勝に進む2名をお知らせします。」)
- ② 2組3着、〇〇さん、〔所属〕 24秒22。1組3着、□□さん、〔所属〕 24秒37。
- ③ 以上、24秒37までの2名です。

## フィールド競技の実践例

### I. 種目・選手紹介

- (1) ロールコールが済んだら、早めに紹介を入れる。
- (2) 砲丸投は、競技開始時刻を早めることが多いので注意。さらに、ひとりひとりの試技時間が短くテンポよく進むので、リズムを合わせ簡潔なコメントで。
- (3) 棒高跳は、競技開始時刻が遅れることが多く、気づかないうちに始まっていることもあるので注意。棒高跳・走高跳では、パスする選手と試技をする人数をよく把握する(試技時間が異なる)。
- (4) 長さを競う種目では、僅差であれば各順位の差や、3回までなら8位の記録もコメントするとよい(トップ8のボーダー)。

【例11 フィールド競技の選手紹介】

- ① 〔場所〕で 間もなく〔種目〕〔予選/決勝〕が行われます。
- ② この種目の大会記録は〇m〇〇、予選通過標準記録は〇m〇〇です。  
(必要に応じて記録保持者の名前も紹介)
- ③ 出場選手を紹介します。  
〇〇くん、〔所属〕…(以下順に出場選手全員を紹介)  
…以上〔〕名の出場です。
- ④ ・高さを競う種目なら  
最初のバーの高さは〇m〇〇で、その後、〇cmずつ上げられます。  
・予選通過記録が設定されていれば  
予選通過標準記録は〇m〇〇です。

※ 必要に応じて、出場選手がスクリーンに表示されていることや、プログラムの記載ページを案内。

## II. 試技中の描写・トップ8の発表

### 【例 12 距離を競う種目の描写】

#### ■ 1回目終了時

- ①〔種目〕決勝は2回目の跳躍（投てき）に入ります。
- ② 1回目では〔所属〕の〇〇さんが Om〇〇をマークしてトップ。  
次は〔所属〕の△△さんで Om〇〇、  
〔所属〕の□□さんが Om〇〇 と続いています。

#### ■ 2回目終了時

- ①〔種目〕決勝は3回目の跳躍（投てき）に入ります。
- ② 2回を終わって現在のトップは Om〇〇をマークした〔所属〕の 〇〇さん。  
これを〔所属〕の △△さんが Om〇〇、  
〔所属〕の□□さんが Om〇〇で 追う展開です。  
なお、現在8位の記録はOm〇〇です。（8位の選手の名前は言わない）

#### ■ 3回目終了時 → 【例 14 トップ8紹介から4回以降の描写】参照

#### ■ 試技が3回で終了の場合

「 以上で 〔種目〕競技終了です。  
本日の第1位は Om〇〇で 〔所属〕の〇〇さんでした。 」

#### ■ 予選の場合

ラウンドごとに、予選通過標準記録を突破しているのが何名なのかをコメントする。  
小人数なら名前も紹介する。

「 〔種目〕は 1回を終え、予選通過標準記録を突破しているのは〇名です。」  
突破者がいなければ、「現在のトップは…」

【例13 トップ8紹介から4回以降の描写】

- ① Aゾーンで行われている女子やり投は、3回の投てきが終了し、トップ8が決まりました。4回以降の投てき順に、これまでの記録と合わせて紹介します。
- ② ○○さん〔所属〕 ここまでの記録 47m18  
△△さん〔所属〕 47m64 ……  
(試技順7番まで言った後に)  
3回が終わり、現在トップに立っているのは、□□さん〔所属〕 56m67 です。
- ③ これから4回目の投てきに入ります。最初の投てきは〔所属〕の○○さんです。  
(ここまで47m18を投げています)。
- ④ (上位の選手の描写)  
次の投てきは〔所属〕の◇◇さん、ここまで○m○○を投げて現在3位、  
2位との差はわずか△センチです。

■ 競技終了の例

以上をもちまして 女子やり投 競技終了です。ご覧のように、本日は  
□□さん〔所属〕が 56m67 で見事優勝しました。  
□□さん おめでとうございます。

## 【 例 14 高さを競う種目の描写 】

### ■ 1回目

- ① [ 場所 ] では [ 種目 ] 決勝が競技開始です。
- ② バーの高さはOmOOです。最初の跳躍はOOくん [ 所属 ]  
…試技…  
OOくん OmOOを1回目にクリア。(失敗した場合にはコメントしない)  
続いて△△くん [ 所属 ] ……

### ■ 2回目

- ① [ 種目 ] 決勝はOmOOの2回目に入ります。
- ② 1回目でOOくん [ 所属 ]、□□くん [ 所属 ] …の○名がクリアしています。  
2回目最初の跳躍は、△△くん [ 所属 ] …

### ■ 3回目最後の選手が終わったら

- ① [ 種目 ] 決勝は、バーの高さがOmOOに上がります。
- ② この高さには(パスがいる場合は「○名がパスをされていて」)  
○名が挑戦します。(少人数なら名前を紹介する)  
OmOO 最初の跳躍は、△△くん [ 所属 ] …

### ■ 競技終了の例

- (3回目をクリアできず競技を終える選手に対するコメント)  
OOくん OmOOの3回目は、惜しくもバーを落としてしまいました。  
(または「たいへん惜しいジャンプでした」など)  
本日は OmOO(クリアした最後の高さ)で競技終了です。  
  
続いて△△くん [ 所属 ] ……
- 優勝が決まっている △△くん、OmOOの3回目です。  
…試技…  
(クリアした場合) △△くんOmOOを3回目で見事クリア、バーがあがります。  
(失敗した場合) △△くん、まことに惜しいジャンプでしたが、本日はOmOOで見事優勝です。△△くん、おめでとうございます!

※ ジャンプオフの可能性があるので、ルールを理解しておく

### III. 結果の発表

- (1)トラック競技『結果の発表』(1)～(7)に準じる。
- (2)フィールド競技の結果では、順位は「 等 」
- (3)記録会などで、複数組で競技をして、その総合順位を発表する場合は「 位 」

#### 【例 15 フィールド競技決勝の成績発表 】

- ① 先ほど終了しました〔 種目 〕、決勝の結果をお知らせします。  
プログラムは〇ページです。  
  
(少し間を置いて)
- ② 1等、〇〇くん、〔 所属 〕、記録 〇m〇〇 (追い風/向い風 〇.〇m)  
  
( 距離を競う跳躍競技なら、記録の後に風を入れる )  
  
2等、△△くん、〔 所属 〕、〇m〇〇 …
- ③ 以上でした。

### グランドコンディション

10時現在のグランドコンディションです。  
天候 晴れ  
気温 22度  
湿度 60%  
東北東の風 1.5m でした。

- ※ 「 風は、東北東の風… 」にならないように。
- ※ 「 スクリーンをご覧ください。競技開始時刻のグランドコンディションが表示されています 」 のコメントで済ませる場合もある。

## 表彰

- (1) 必ず原稿を作る。
- (2) 事前に確認しておくこと
  - \* 受賞者やプレゼンターの名前・所属  
難読があれば必ず確認の上、フリガナをつける。
  - \* プレゼンターの肩書  
立場により肩書・敬称が異なる。複数の肩書は、本人や関係者に確認しひとつに絞る。
    - ・主催・共催側の立場の場合 「所属+氏名+肩書」または「所属+肩書+氏名(氏)」  
ex: 公益法人日本陸上競技連盟 横川 浩 会長
    - ・協賛者・来賓の場合 「所属+肩書+氏名+敬称」  
ex: 本大会に協賛いただいております、株式会社〇〇代表取締役社長△△様
  - \* 表彰は第1位からか第3位からか？  
受賞者は順位や名前をアナウンスされて表彰台に上がる。
  - \* プレゼンターが賞状を読み上げるのか？読み上げはマイクで？
  - \* 受賞者に何を渡すのか？ 順位により異なることがある。  
プレゼンターが賞状やメダル・賞品を渡すのを一つずつ確認しながら、タイミングを合わせてコメントをつけていく。  
選手権大会では1位は「選手権章」、2位以下は「メダル」
- (3) 受賞者の競技歴や、連覇達成や、その競技会で他に入賞を果たしている種目があれば紹介してよい。
- (4) 競技のアナウンスとは違う調子で、勝者を称え、華やかな気持ちをこめて。

### 【例 16 表 彰】

- ① 正面スタンド前をご覧ください。女子 100m競走の表彰を行います。
- ② プレゼンターは、◆◆陸上競技協会 ◇◇◇副会長 です。  
( または 表彰は◆◆陸上競技協会 ◇◇◇副会長 が行います。 )
- ③ (受賞者・プレゼンター・表彰係全員が定位置についたのを確認してから)  
女子 100m競走 第1位は ○〇さん〔所属〕 大会新記録 12秒23をマーク、  
昨日の200m競走に続き、みごと2冠達成です。○〇さんには賞状とメダルが贈られます。
- ④ (賞状・メダルが手渡され、プレゼンターが2位の台へ移動し始めたら)  
第2位 △△さん〔所属〕 記録は12秒35でした。△△さんには賞状が贈られます。
- ⑤ (以下同様に3位、必要なら8位まで行い、プレゼンターが再び1位の台の前に戻ったら)  
以上で 女子 100m競走の表彰を終わります。おめでとうございます。



## 開 閉 会 式



大学対校戦などの小規模競技会では、開閉会式の司会を幹事校の学生がやる場合も多いのですが、アナウンサー初心者が務める必要があるかもしれません。

**表彰**の手順や考え方に準じます。担当者に確認しながら、必ず式次第の原稿を作り、挨拶する人や選手宣誓者の名前間違いがないように準備します。

### 【例17 開 会 式】

- ① ただいまから 開会式を行います。
- ② 開会宣言 [大学] 主務 ○○くん  
(「ただいまより 第○回 国公立大学対校戦を行います。」)
- ③ (○○くんが元の位置に戻るのを確認してから)  
大会会長挨拶 [大学] △△先生
- ④ (△△先生が元の位置に戻るのを確認してから)  
選手宣誓 [大学] □□さん
- ⑤ (□□さんが元の位置に戻るのを確認してから)  
[◆◆陸協] ◇◇審判長より 競技上の諸注意があります。
- ⑥ (◇◇審判長が元の位置に戻るのを確認してから)  
以上で開会式を終わります。

(1) 式次第や誰が挨拶をするのか等に決まりはなく、内容も様々。④⑤は順序が逆のこともある。

(2) 選手宣誓では通常、大会会長やそれに準じる人が、宣誓を受けるために前に出る。  
マイクを宣誓者に向け、宣誓が終わったら元の位置に戻す担当者を決めておく。

(3) ⑥で結びの言葉があるとまとまる。

ex : 「…終わります。それぞれ競技の準備に入ってください。」

「…終わります。トラックは9時10分に男子100m競走予選、フィールドは9時30分に女子走高跳が競技開始になります。」

閉会式での結びの言葉としての例

「…閉会式を終わります。皆さんの健闘を称え拍手で解散とします。  
お疲れさまでした。」

以 上